

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

1. 中小企業の経営支援に関する取組み方針

地域の中小企業及び個人のお客様への安定した資金のご提供は、協同組織金融機関である当金庫にとって、最も重要な社会的使命と認識しております。

地域企業の課題解決に向け、必要に応じて外部専門家や外部機関等も活用しつつ、経営改善・事業再生支援等のコンサルティング機能の一層の発揮に務め、引き続き地域経済の活性化に全力を傾注してまいります。

2. 中小企業の経営支援に関する体制整備

当金庫では、地域中小企業へのきめ細やかな経営支援を行うために、専門部署として本部に「企業支援課」を設置しております。また、経営支援態勢の強化を図るため下記の外部専門家・外部機関等とも連携し取り組んでまいります。

【外部専門家】

弁護士・税理士・弁理士・中小企業診断士

【外部機関等】

関東経済産業局・国土交通省土地建設産業局・中小企業基盤整備機構
㈱日本政策金融公庫・東京信用保証協会・東京商工会議所
東京都中小企業再生支援協議会・東京都事業引継ぎ支援センター
TKC 東東京会・東京都中小企業診断士協会・㈱地域経済活性化支援機構

3. 中小企業の経営支援に関する取組状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

a. 創業・新規事業開拓の支援

地域における創業支援等の分野において、株式会社日本政策金融公庫千住支店及び江東支店と業務連携すると共に、東京都「女性・若者・シニア創業サポート事業」にも参画し、お客様のニーズや各々のステージに応じたサポートを行ってまいります。

・「創業・新事業支援融資」実行 7件 38百万円

b. 成長段階における支援

① シグマバンクグループ(当金庫・足立成和・亀有・小松川の4金庫)による「第7回ビジネス交流会」を平成27年8月4日に開催。参加企業約290社(内ブース出展企業74社)、来場者約730名、商談(面談)件数約530件、商談成約89件(当金庫の取引先では20件の成約)の実績がありました。



- ② 不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資や事業性を評価した融資の取組み実績

【実績】

| | | |
|---------------|---------|---------|
| ・「資金繰り安定化融資」 | 実行 49 件 | 275 百万円 |
| ・「とうえいサポート」 | 実行 32 件 | 190 百万円 |
| ・「事業性評価融資 飛躍」 | 実行 1 件 | 2 百万円 |

c. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- ① シグマバンクグループ(当金庫・足立成和・亀有・小松川の4金庫)では、産学連携に関する協定を締結している学校法人東京理科大学との共催による「東京理科大学トライボロジーセンター」の視察会および交流会を平成27年6月11日に開催。約230名が参加し3Dプリンターの性能等について説明を受けるとともに大学関係者との交流を図りました。



- ② 取引先企業の経営課題解決に必要とされる人材（専門性の高いノウハウや人脈を持つ人材）をマッチングする事を目的に、関東経済産業局および東京都信用金庫協会の共催による『第7回 新現役交流会』を平成27年9月2日に開催。企業15社が参加し、内8社が企業OBおよび専門家の支援を受けました。



- ③ 経営の革新・改善へのきっかけにしたいとすることを目的とした「とうえい経営支援セミナー」を平成27年11月20日タワーホール船堀にて開催し60名の方が参加されました。



【テーマ：マイナンバー制度対応実務の要点・対策】

- ④ 相談先に悩む中小企業等の相談窓口として、販路拡大を始めとする様々な経営課題に対応し、相談内容に応じて、中小企業等への適切な支援機関の紹介や、支援機関において対応が困難な相談案件への対応等を実施する「東京都よろず支援拠点」との連携による出張相談会を開催。

- ・第4回 平成27年 7月14日（篠崎支店） 参加企業 7社
- ・第5回 平成27年 9月29日（亀戸支店） 参加企業 5社
- ・第6回 平成27年11月25日（本 部） 参加企業 3社



- ⑤ 革新的なサービス開発・試作開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援するため「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」個別相談会を平成28年2月19日に開催。企業11社が参加し中小企業診断士のアドバイスを受けました。



4. 地域の活性化に関する取組状況

当金庫は、地域の一員として各支店の職員が地域行事等へ積極的に参加しております。

【地域行事への参加状況】

- ・一之江駅西口春まつり（江戸川支店）
- ・本郷獅子もみ行事（篠崎支店）
- ・立石フェスタ2015（立石支店）
- ・新小岩商交会まつり（本店営業部）
- ・みんなの家まつり（本一色支店）
- ・中央・一之江ふるさとまつり（江戸川支店）
- ・長島商店会歳末福引抽選会（葛西支店）
- ・立石安心フェア（立石支店）
- ・本一色さくら公園まつり（本一色支店）
- ・その他各地域「納涼盆踊り大会」

平成27年度は、上記の地域行事に職員106名が参加致しました。



【本郷獅子もみ行事】



【本一色さくら公園まつり】

- 東栄信用金庫は世界一の観光都市を目指す東京都の取組みに賛同し、東京ブランドアクションパートナーに信用金庫で第1号の登録をしました。

ロゴ・キャッチコピー「&TOKYO」



東京ブランドロゴマークを浸透させるため、職員の名刺に「&TOKYO」のロゴを取り入れました。また、都内全店に「&TOKYO」PRポスターを掲示しました。

経営改善支援の取組み実績

【27年4月～28年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

| | 期初 債務者数 A | うち 経営改善 支援取組 み先数 α | αのうち | | | 経営改 善支 援取 組 み 率 α/A | ラン ク ア ッ プ 率 β/α | 再生計 画 策 定 率 δ/α |
|--|-----------------|--------------------------------|--|---|----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| | | | αのうち期 末に債務 者区分が ランクア ップした 先数 β | αのうち期 末に債務 者区分が 変化しな かった先 数 γ | αのうち 再生計画 を策定し た先数 δ | | | |
| 正常先 ① | 732 | 0 | | 0 | 0 | 0.0% | | - |
| 要 注 意 先 うち 要 管 理 先 ③ | 9 | 2 | 0 | 2 | 2 | 22.2% | - | 100.0% |
| うち その 他 要 注 意 先 ② | 656 | 18 | 1 | 15 | 10 | 2.7% | 5.6% | 55.6% |
| 破綻懸念先 ④ | 79 | 5 | 0 | 4 | 4 | 6.3% | 0.0% | 80.0% |
| 実質破綻先 ⑤ | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% | - | - |
| 破綻先 ⑥ | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0% | - | - |
| 小計(②～⑥の計) | 768 | 25 | 1 | 21 | 16 | 3.3% | 4.0% | 64.0% |
| 合 計 | 1,500 | 25 | 1 | 21 | 16 | 1.7% | 4.0% | 64.0% |

(注)・期初債務者数及び債務者区分は27年4月当初時点です。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。

・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しております。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβには含んでおりません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含んでおります。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従っております。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでおりません。

・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しております。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しております。

・「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」。(過年度分も含めて再生計画を策定している先数)